

令和6年度

肢体不自由教育部門

小学部

第3学年

③学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	国語・算数		学習グループ名	小③-1	
目標・ねらい	(1) 聞く力(音源の方向、擬音、くりかえしの言葉、やりとりの言葉など)、聞いて考える力(次の展開が分かる、期待する等)、見る力(追視、注視など)、伝える力を高める。 (2) お話遊びを通して、目と手の協応操作、物の永続性、簡単な因果関係の理解を深める。 (3) キーワードや、活動の場面の变化に気付き、主体的に活動に参加する。				
担当教職員 *学校介護職員	岡名沙輝 巖真依子 石澤恵 高橋裕里子 米沢純子 藤塚あかり *大前比佐子 *中島亮子 *播磨朋子 *大和田智里				
年間授業時数	105 単位時間				
使用教科書	こくご☆ さんすう☆				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	「やさいさん」	30	○具体物や教員の動きを支えに、お話をさく。 ○「やさいさん やさいさん だあれ」「すっぽーん」の言葉のリズムに親しみ、ひっぱり遊びを通して、事物や動作に触れる。◆身近な大人との関わりの中で、言葉を伝え合う。 ○大人が介在した友達と物を引っ張る等の活動を通して、「OOさん。」「はあい」「やりたい人」「すっぽーん」などの言葉のやりとりの楽しさに触れること。 ◆身近な大人や友達との関わりの中で、言葉を伝え合う。		・児童の姿勢や環境づくり、教材の選定および提示の位置に配慮する。 ・視覚、聴覚、触覚等、保有する感覚に働きかけができるような教材や題材を使用する。 ・次の場面への期待感もてるように、言葉かけ、働きかけを教員、HT間で共有する。 ・児童からの表出を見逃さず受け止め、気持ち共感し、フィードバックを行う。 ・効果音を取り入れたり、繰り返しの言葉を強調したりすることで、場面を分かりやすくする。
5					
6					
7					
9	ことばのくりかえし ('でんしゃでいこう でんしゃでかえろう')	45	○『でんしゃでいこう でんしゃでかえろう』のお話を見たり聞いたりする。 ◆お話の展開に見通しや期待感をもって、見たり聞いたりする。 ◆お話の場面を体験する。 ◆お話の中に出てくる言葉を表す動きを体験したり、「出発(始まり)」と「到着(終わり)」を意識したりしながら楽しむ。		・児童の興味関心を引き出すために、読み聞かせは、動きをつけたパワーポイントを用意する。 ・物語とのつながりを意識できるような教材を用意する。 ・休み時間等で、絵本の読み聞かせを行い、具体物の世界と絵本の世界をつなげていく。 ・日常生活・他教科と使用する言葉を連携させ、見通しのもてる、また、期待感の高まる言葉としていく。
10					
11					
12					
1	「まる・さんかく・しかく」	30	○教科書を用いた読み聞かせ ◆教師の音読を聞きながら、自分の教科書を手元で見る。 ◆形を表す言葉を聞きながら絵を見る。 ○丸、三角、四角の特徴 ◆「ツルツル」「チクチク」「カクカク」など、3つの形について擬態語を聞きながら触る。 ◆それぞれの形に見たり触れたりして、形の特徴の違いに気付く。		・他教科でも関連した内容を扱うことで、学習をより深められるようにする。
2					
3					
通年	①課題別学習 ②読書活動の充実		○個々に応じた課題別学習 ○読書活動	①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	国語・算数		学習グループ名		小③-2
目標・ねらい	(1) 聞く力(音源の方向、擬音、くりかえしの言葉、やりとりの言葉など)、聞いて考える力(次の展開が分かる、期待する等)、見る力(追視、注視など)、伝える力を高める。 (2) お話遊びを通して、目と手の協応操作、物の永続性、簡単な因果関係の理解を深める。 (3) キーワードや、活動の場面の变化に気付き、主体的に活動に参加する。				
担当教職員 *学校介護職員	岡名沙輝 巖真依子 石澤恵 高橋裕里子 米沢純子 藤塚あかり *大前比佐子 *中島亮子 *播磨朋子 *大和田智里				
年間授業時数	105 単位時間				
使用教科書	こくご☆ さんすう☆				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	「まる・さんかく・しかく」	30	○教科書を用いた読み聞かせ ◆教師の音読を聞きながら、自分の教科書を手元で見る。 ◆形を表す言葉を聞きながら絵を見る。		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の姿勢や環境づくり、教材の選定および提示の位置に配慮する。 ・視覚、聴覚、触覚等、保有する感覚に働きかけができるような教材や題材を使用する。 ・次の場面への期待感もてるように、言葉かけ、働きかけを教員、HT間で共有する。 ・児童からの表出を見逃さず受け止め、気持ちを共感し、フィードバックを行う。 ・効果音を取り入れたり、繰り返しの言葉を強調したりすることで、場面を分かりやすくする。
5			○丸、三角、四角の特徴 ◆「ツルツル」「チクチク」「カクカク」など、3つの形について擬態語を聞きながら触る。 ◆それぞれの形に見たり触れたりして、形の特徴の違いに気付く。○具体物や教員の動きを支えに、お話をさく。		
6					
7					
9	ことばのくりかえし (「でんしゃでいこう でんしゃでかえろう」)	45	○『でんしゃでいこう でんしゃでかえろう』のお話を見たり聞いたりする。 ◆お話の展開に見通しや期待感をもって、見たり聞いたりする。 ◆お話の場面を体験する。 ◆お話の中に出てくる言葉を表す動きを体験したり、「出発(始まり)」と「到着(終わり)」を意識したりしながら楽しむ。		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味関心を引き出すために、読み聞かせは、動きをつけたパワーポイントを用意する。 ・物語とのつながりを意識できるような教材を用意する。 ・休み時間等で、絵本の読み聞かせを行い、具体物の世界と絵本の世界をつなげていく。 ・日常生活・他教科と使用する言葉を連携させ、見通しのもてる、また、期待感の高まる言葉としていく。
10					
11					
12					
1	おおきなかぶ	30	○具体物や教員の動きを支えに、お話をさく。 ○「うんとこしょ どっこいしょ」の言葉のリズムに親しみ、ひっぱり遊びを通して、事物や動作に触れる。◆身近な大人との関わりの中で、言葉を伝え合う。 ○大人が介在した友達と物を引っ張る等の活動を通して、「OOさん。」「はあい。」「うんとこしょ どっこいしょ」などの言葉のやりとりの楽しさに触れること。 ◆身近な大人や友達との関わりの中で、言葉を伝え合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・他教科でも関連した内容を扱うことで、学習をより深められるようにする。
2					
3					
通年	①課題別学習 ②読書活動の充実		○個々に応じた課題別学習 ○読書活動	①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	音楽		学習グループ名	小③	
目標・ねらい	(1) 音楽や、音の強弱、リズムの変化に気付いて関心を向け、教職員とともに身体表現や発声、演奏を行うことができる力を身に付ける。 (2) 範唱や範奏に注目し、様々な曲想を受け止め、音楽表現を楽しく聴くことができる力を養う。 (3) 音や動きに気付き、教職員とともに進んで音楽活動に取り組みようとする態度を培う。				
担当教職員 *学校介護職員	岡名沙輝 巖真依子 石澤恵 高橋裕里子 米沢純子 藤塚あかり *大前比佐子 *中島亮子 *播磨朋子 *大和田智里				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	おんがく☆				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	仲良くなるう	8	○始まりの歌 ○名前呼び『手をつないでこんにちは』 ○準備体操『タロチカ』 ○リズム遊び『まほうのチャチャチャ』 ○鑑賞・季節の歌・歌唱(春の歌) ○終わりの歌 ◆ともに学習する先生を知り、受け止める。楽しく表現活動を行う。 ◆教職員の手本に注目し、音源やリズムの変化に気付く。 ◆音楽に合わせて身体を動かし、楽器を鳴らす。		・様々な教職員と触れ合う場を設けるようにする。 ・無理に腕や身体を動かすのではなく、個に応じて、ゆっくりじっくり、楽しく身体を動かせるよう配慮する。 ・興味をもてるよう、教職員は前に出て範唱や範奏を示すようにする。
5					
6	世界の音楽を感じよう	12	○始まりの歌 ○準備体操・発声練習『笛』 ○リズム遊び『アラム サム サム』 ○鑑賞・器楽『マンガニ、雨と踊ろう』 ○鑑賞・季節の歌・歌唱(日本の歌) ○終わりの歌 ◆様々な国の音楽を受け止め、違いを知る。 ◆教職員の範奏に注目し、合図に合わせて身体を動かす。 ◆音の重なりやリズムの変化に気付き、教職員に伝える。		・様々な国の雰囲気を感じられるような環境づくりを行う。 ・楽しい雰囲気や違いを感じ取りやすくなるよう、範奏は複数で明確に示すようにする。 ・楽しい気持ちを表現できたときは、すぐに褒め、自信をもてるようにする。
7					
9	キャンプに行こう	16	○始まりの歌 ○準備体操・発声練習『笛』 ○鑑賞・リズム遊び『山のごちそう』 ○リトミック『キャンプに行こう』 ○鑑賞・季節の歌・歌唱(静かな歌) ○終わりの歌 ◆いろいろな曲調の音楽を受け止め、楽しく歌う。 ◆音や揺れ、映像に意識を向け、驚きや楽しさを表現する。 ◆歌に合わせて身体を動かしたり、声を出したりする。		・賑やかな楽しい曲だけでなく、静かな曲やゆったりとした曲など、意図的に取り組むようにする。 ・変化をしっかりと感じて気付きを引き出せるよう、明確な動きや演奏に努める。 ・子供の表出をしっかりと受け止め、言語化して共感できるようにする。
10					
11	第九を歌おう ・演奏しよう	14	○始まりの歌 ○準備体操・発声練習『笛』 ○リズム遊び『レッツゴー ソーレー』 ○鑑賞・器楽『第九 歓喜の歌』 ○季節の歌・歌唱(秋・冬の歌) ○終わりの歌 ◆教職員に注目し、音やリズムの重なりに気付く。 ◆オーケストラの迫力のある音楽に興味をもち、楽器の音の違いに気付く。 ◆音楽の曲調に合わせ、声を出す。		・楽しい雰囲気を感じられるよう、教職員は息を合わせて、力強く演奏するようにする。 ・オーケストラは、楽器の簡単な紹介を行い、音楽だけでなく楽器にも興味をもてるようにする。 ・合図を分かりやすく示し、手本に合わせて演奏できるように促す。
12					
1	リズムで遊ぼう ・楽しく踊ろう	20	○始まりの歌 ○準備体操・発声練習『笛』 ○歌唱・リズム遊び『雪のおどり』 ○ダンス『まねっこダンス』 ○鑑賞・季節の歌・歌唱『ありがとうの花』 ○終わりの歌 ◆音の重なりや動き、音源を意識し、注目する。 ◆音楽に合わせて思いのままに身体を動かす。 ◆友達を意識し、手本の動きを意識しながら表現活動を行う。		・違いに気付きやすいよう、教職員の間隔を開けて動きのまとまりをつくることができるよう工夫する。 ・どこをどのように動かすのか、言葉で伝えたり腕などの支援をしたりする。 ・友達の方に意識を向けられるよう、言葉がけをして促す。
2					
3					
通年	・呼吸練習『笛』 ・発声練習 ・季節の歌・手遊び		○笛を鳴らし、呼吸を意識する。 ○優しい声を出す。 ○様々な曲調の音楽を聴き、指示に従い手足を動かす。 ◆笛の音に気付き、やってみようという意欲を養う。 ◆力を抜いて、呼吸のコントロール力を高める。 ◆様々な曲調の歌を受け止め、楽しく歌おうという姿勢を育む。		・腹部に手を当て、意識する部位を知らせるようにする。 ・くわえ易いよう、笛の吹き口にチューブを取り付ける。 ・華やかなマイクを準備し、意識を高められるようにする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	図画工作		学習グループ名	小③	
目標・ねらい	(1) 形や色、素材の変化に気付き、材料や用具を使おうとする力を身に付ける。 (2) 表したいことを自分なりの手の動きなどで表現したり、作品に注目できるような力を養う。 (3) 手指を動かして身の回りの素材や道具に積極的に関わろうとする態度を培う。				
担当教職員 *学校介護職員	岡名沙輝 巖真依子 石澤恵 高橋裕里子 米沢純子 藤塚あかり *大前比佐子 *中島亮子 *播磨朋子 *大和田智里				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	あかちゃんのおそびえほん(5) うごくにんぎょうあそび				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	絵の具で遊ぼう	3	○絵の具をトレイや紙の上で触る。 ◆絵の具を混ぜた時などの素材の変化を感じ、手の動きや表情で表現する。		・手を動かしやすいよう、導入で手指の体操を取り入れる。 ・手本を提示する際は、見やすい位置に提示する。 ・児童が見通しをもてるよう手本や道具を見せて説明をする。 ・自分なりの動きを引き出すことができるような支援をする。 ・鑑賞の際には、児童が見やすい位置で作品を提示し、達成感もてるような言葉掛けをする。
5	花を描こう	7	○花をイメージしたぬたくり ◆積極的に手指を動かし、描く楽しさを表情などで表現する。		
6					
7	染めてみよう	3	○植物を使って染物をする。 ◆手元に注目したり、感触や色の変化など感じたことを表情などで表現する。		
9	まぜてあそぼう えのぐをまぜよう	3	○絵の具と絵の具、絵の具と水など手で絵の具を混ぜる ◆積極的に手を動かし、感触や色の変化など感じたことを自分なりに表現する。		
10	まぜてあそぼう かみをまぜよう	3	○お花紙とお花紙、お花紙を水などを混ぜる。 ◆積極的に手指を動かし、紙の感触や紙の混ざる音などの変化を感じ、感じたことを自分なりに表現する。		
11	まぜてあそぼう ねんどをまぜよう (季節の飾りをつくらう)	7	○違う色の粘土と粘土を混ぜる ○粘土に絵の具やペンで色をつけた粘土を混ぜる。 ◆積極的に手指を動かし、粘土に関わる。 ◆混ざっていく様子などに注目し、感じたことを自分なりに表現する。		
12					
1	ふでで描いてみよう	6	○筆を使って描く ◆積極的に手指を動かし、道具を持ったり、動かしたりする。 ◆紙に墨や絵の具がつく様子に注目したり、匂いなど感じたことを自分なりに表現する。		
2					
3	みんなで描こう	3	○グループでひとつの作品をつくる ◆積極的に手指を動かす。作品を見て感じたことをそれぞれの方法で表現する。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	体育		学習グループ名	小③	
目標・ねらい	(1) 様々な運動経験を通じて、教職員と一緒に楽しく身体を動かすことができるようにする。 (2) 身体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの手段で表現できるようにする。 (3) 具体物を直接的または間接的に操作して、主体的に運動へ参加する意欲を育む。				
担当教職員 *学校介護職員	岡名沙輝 巖真依子 石澤恵 高橋裕里子 米沢純子 藤塚あかり *大前比佐子 *中島亮子 *播磨朋子 *大和田智里				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	運動会の練習	6	○運動会の競技練習 ◆活動を楽しみながら身体を動かす。 ◆運動会に向けて参加競技の活動を理解する。 ◆主体的に競技に参加する。		・最初は教職員と一緒に身体を動かし、徐々に支援を減らしていく。 ・授業や活動のテーマソングを決めて、繰り返し流して見通しをもてるようにする。 ・主体的な動きを引き出せるよう、教具を工夫する。
5					
6	水泳指導	10	○水慣れ、浮き身、振りこ、水中歩行など ◆水中で身体の緊張を緩める。 ◆浮力や水中で身体を動かす心地良さを表現する。 ◆主体的に水泳指導に参加する。積極的に身体を動かす。		・身体を密着させて入水するなど、安心して水に触れたり、水に入ったりできるようにする。 ・「ゆらゆら」「ばしゃばしゃ」など、児童の表情から感じたことをオノマトペで代弁する。 ・浮き具を活用して、児童本人の水中での動きを引き出す。
7					
9					
10	機械・器具を使つての遊び	10	○トランポリン、お山転がり ◆トランポリン上でバランスを保つ、転がる方向に顔を向けるなどができる。 ◆揺れや振動に気付き、感じたことを表現する。 ◆主体的に活動する。自分から身体を動かす。		・様々な揺らしかたをして、バランス感覚を高める。三角クッションの下から呼びかける、本人の好きな玩具を下に置くなどして、転がる方向に注目できるようにする。 ・目を合わせて「楽しいね」など共感的な言葉掛けをする。 ・写真カード等を活用して、やりたい気持ちをタッチや発声、目線の動きで表出できるようにする。
11					
12					
1	ボール遊び	9	○ボウリング、サッカー ◆ボールを転がす、投げる、蹴る、捕るなどすることができる。 ◆ボールを使って身体を動かす楽しさを表現できる。自分なりに工夫してボール遊びができる。 ◆簡単な合図や指示に従ってボール遊びをしようとする。		・単元の最初では、補助具や難易度をスモールステップで変更していく。 ・集団ゲームとして、友達と協力場面、競い合う場面を設定する。 ・ルールを簡潔化し、分かりやすい課題設定で協議を行う。
2					
3					
通年	体づくり運動 表現活動		○準備体操、身体遊び、ダンス、リトミック ◆教職員と一緒に身体を動かし、自分の手足に注目する。 ◆身体を動かす楽しさを表現する。 ◆積極的に身体を動かす。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	
教科等名	特別活動		学習グループ名	3学年	
目標・ねらい	(1) 普段とは違う集団の中で、活動に気持ちを向けて参加する。 (2) 行事に興味をもって、期待感や見通しをもつ。 (3) 簡単なルールを理解して、集団活動に参加する。				
担当教職員 *学校介護職員	岡名沙輝 巖真依子 石澤恵 高橋裕里子 米沢純子 藤塚あかり 三好亮子 島田久美子 *大前比佐子 *中島亮子 *播磨朋子 *大和田智里				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	仲良くなるろう	3	○自己紹介、ゲーム活動 ◆集団活動を通して、教職員や友達とやりとりをする。		・安心して活動に参加できるように、わかりやすい言葉掛けや共感的な関わりをする。 ・行事で使う歌や写真等を事前学習で使って、期待感や見通しをもてるようにする。
5	運動会の準備をしよう	2	○運動会の種目練習、種目発表 ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		
6	学年の時間	3	○レクリエーション、製作など ◆簡単なルールを理解して、活動に参加する。 ◆普段とは違う集団で、活動に気持ちを向けて参加する。		
7		2			
9	墨東祭の準備をしよう	4			
10		4	○墨東祭の事前学習 ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		
11		5			
12	墨東祭の準備をしよう 墨東祭の振り返りをしよう	2	○墨東祭の事前、事後学習 ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		
1	学年の時間	3			
2		4	○レクリエーション、製作など ◆簡単なルールを理解して、活動に参加する。 ◆普段とは違う集団で、活動に気持ちを向けて参加する。		
3		3			

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		小③
目標・ねらい	(1) いろいろな姿勢をとること、身体を動かすことを通し、変形や拘縮予防するとともに、リラックスした身体の維持や身体機能の向上をはかる。 (2) 視覚、聴覚、触覚等、様々な感覚を使うことを通して、感覚機能の向上を図る。 (3) 情緒の安定をはかるとともに、自分の気持ちや要求を自分なりの方法で表したり伝えたりする力をつける。				
担当教職員 *学校介護職員	岡名 沙輝 巖 真依子 石澤 恵 高橋 裕里子 米沢 純子 藤塚 あかり *大前 比佐子 *中島 亮子 *播磨 朋子 *大和田 智里				
年間授業時数	534 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	はじまりの会	499	○呼名、歌、からだ遊び等 ◆教員の言葉掛けや働き掛けに気づき、自分なりの方法で答える。 ◆活動を通じて、感じたこと、自分の気持ちや要求を表したり伝えたり選んだりする。		<ul style="list-style-type: none"> ・児童個々の課題に応じて、教材等を工夫する。 ・児童の表出を読み取り、意味付けして返すやりとりを丁寧に行い、表出・伝達を促す。 ・気持ちの揺れや情動の高まりに配慮した関わりをする。 ・外部専門員のアセスメント、助言を生かし、指導の積み重ね、継続を図る。
	個別の取組		○身体を取組(排痰、リラクゼーション、ストレッチ、いろいろな姿勢、寝返りや立位、歩行の練習)、遊具を使った遊び(ブランコ、トランポリン等) ◆身体を動かすこと、動かされること、いろいろな姿勢に慣れ、意欲的に身体を動かしたり、使ったりする。 ○コミュニケーションの学習(絵本、玩具を介した学習、身体遊び) ◆感じたこと、自分の気持ちを自分なりの方法で表したり伝えたりする。 ○認知の学習(手指の操作、因果関係理解、視覚・聴覚を使う活動) ◆様々な働きかけに興味をもち、見たり、聞いたり、触れたり、操作したりすることを楽しむ。		
	特設自立活動	35	○個別の取組と同様 ◆個別の取組と同様		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	日常生活の指導		学習グループ名		小③
目標・ねらい	(1) 排泄に関する介助を受け止めたり、協力したりすることができる。 (2) いろいろな介助を受け入れる態度を身につける。 (3) 給食、栄養注入に向けて気持ちを整えたり、意欲を高めたりする。				
担当教職員 *学校介護職員	岡名沙輝 巖真依子 石澤恵 高橋裕里子 米沢純子 藤塚あかり 三好亮子 島田久美子 *大前比佐子 *中島亮子 *播磨朋子 *大和田智里				
年間授業時数	122.5 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	排せつ	122.5	○排せつ後のオムツ交換、導尿 ◆排せつがあったことを伝える。 ◆排せつに関する問いかけに自分なりの方法で応える。 ◆介助やケアに気持ちを向け、言葉掛けに応じて協力動作をする。		・排せつに意識を向けられるような言葉掛けややりとりをする。 ・児童個々の実態や課題に合わせた指導、介助を行う。 ・食事への意識や関心を高められるように個々の実態や気持ちに合わせた対応を行う。 ・落ち着いて安全な摂食や医療的ケアを受けられるように準備を整える。
	水分補給		○コップやスプーン、ストローで水分を摂る。 ○水分注入を受ける。 ◆水分摂取や水分注入にかかわる介助や医療的ケアを受け入れる。 ◆自分でできる動作をしながら水分を摂る。		
	給食準備		○配食を目で確認して期待感をもつ。 ○捕食や注入に向けた姿勢を整える。 ○カットテーブルやエプロンをつける。 ◆給食への期待感や見通しをもつ。 ◆介助に協力したり、自分でできる準備を行ったりする。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	生活単元学習		学習グループ名	小③	
目標・ねらい	(1) 行事に向けた活動に参加し、練習を重ねることで期待感をもったり、おおまかな見通しをもったりすることができる。 (2) 季節や自然を感じることができ活動を通して、植物に触れ、興味を向けることができる。 (3) 生活に根ざした経験を重ねて興味関心の幅を広げ、				
担当教職員 *学校介護職員	岡名沙輝 巖真依子 石澤恵 高橋裕里子 米沢純子 藤塚あかり 三好亮子 島田久美子 *大前比佐子 *中島亮子 *播磨朋子 *大和田智里				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	でんしゃでいこう でんしゃでかえろう、生活図鑑カードくだものやさいカード1集				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 5	シャボン玉で遊ぼう 運動会練習をしよう	4	○自己紹介 ○シャボン玉 ○運動会練習 ◆教職員と一緒に自分の名前や好きなこと等を発表できる機会を設ける。 ◆レバーやボタンに働き掛けてシャボン玉を飛ばし、因果関係の理解につなげる。 ◆運動会のダンス練習、競技練習をしたり、身体を動かしたりする。		・様々な教職員とかかわったり、新しいグループのメンバーに気が付いたりできるようにする。
6	植物に親しもう	8	○土入れ、種植え、苗植え、水やり、追肥 ◆季節の草花や野菜を栽培し、日常的に植物に触れ合って季節を感じたり、収穫したりする楽しさを共有する。		・スイッチ教材や補助具を工夫して児童の動きのできる活動をできるだけ設定する。 ・収穫した野菜をシール等で貼り付け国語算数と合わせた指導内容にする。
7	夏の行事を楽しもう	8	○七夕 ○水遊び ◆見たり、触れたり、ちぎったり、貼ったりと七夕の制作活動に取り組むことができる。		・教室で七夕や水遊びを準備する際、安全に実施できるよう教室環境、衛生環境に注意する。 ・児童によっては実施後しっかり保温する。
9	草木染をしよう	8	○あさがおの花収穫 ○スイッチ操作 ○ハンカチ染め ◆栽培した花を活かして草木染をし、制作活動をする。		・栽培した花を採取したり、保存したりするときは衛生管理に配慮する。
10	校外学習	8	○事前学習、事後学習 ◆友達や教職員と一緒にスクールバスに乗ったり、一緒に「がすてなーに」で見学をしたりして楽しさを共有したり、親しみを感じながら関わり合うことができる。		・活動のシンボルや写真カード、絵カードを用いて校外学習当日に簡単な見通しをもつことにつなげられるようにする。
11	墨東祭に向けて	8	○発表練習 ○展示準備 ◆活動に興味をもち、友達や教職員、周りの様子に気持ちを向けながら活動する。		・自立活動室で安全に活動できるよう、事前の電源確保や配置について準備する
12 1 2 3	季節の遊び 季節行事 1年間振り返り	16	○正月遊び ○年賀状作り ○もちつき ○豆まき ○ひな祭り ◆季節にちなんだ日本の伝統遊びや行事を通して、やりとりするコミュニケーションを深めたり、気持ちの表出につなげたりする。		・行事的な内容、季節的な内容、食材を扱う内容を取り入れ体験的な活動をする。 ・体験的な活動を通して、見たり、触ったり、聞いたりするなど多くの感覚で受け止め、感じたことを表出する機会を積み重ねる。
通年	植物に親しもう 英語に親しもう	10	○野菜スタンプ、季節のはがき ○英語の歌、英語の名称 ◆植物を観察したり、触ったり、収穫したりする。 ◆英語の歌や曲に親しむ機会をもつ。		・野菜や果物を教材として扱うときはアレルギーや衛生環境に留意する。